J

MA-170

取扱説明書（保証書付）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。
小さなお子様には、保護者の方が読んで説明してあげてください。

MA170-JA-1

CASIO

MA170_j_cover.p65 Page 1 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。
（左の例は感電注意）

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。
（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

278B-J-002A

⚠ 警 告

ACアダプターについて

- ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 必ず本機指定のACアダプターを使用する
  - 電源は、AC100V（50/60Hz)のコンセントを使用する
  - 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- ACアダプターは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手でACアダプターに触れないでください。
  感電の原因となります。
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

水、異物はさける

水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

分解・改造しない

本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

MA170_j_00-05.p65 Page 3 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

⚠ 警 告

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

⚠ 注 意

AC アダプターについて

● AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプター本体を持って抜く）

⚠ 注 意

● AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

移動させるときは

移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、ACアダプター本体をコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

278B-J-004A

MA170_j_00-05.p65 Page 4 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

⚠ 注 意

コネクター部への接続

コネクター部には、指定以外の別売品を接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙があたるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光があたる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

表示画面について

- 表示画面の液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

音量について

大きな音量で長時間使用しないでください。特にヘッドホンをご使用の際にはご注意ください。設定によっては聴力障害の原因となることがあります。

⚠ 注 意

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。
速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。※
- 音質が劣化した。※
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。※
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。

※ マイク使用時も含む

MA170_j_00-05.p65 Page 5 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

● **テレビやラジオの近くでは使わないでください。**
テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから充分に離してお使いください。

● **お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。**
鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。

● **極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。**
液晶表示の濃淡が極端に変化し、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

● 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
● 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
● 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
● 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

保証・アフターサービス

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● **保証期間中は**
保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。
- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● **保証期間が過ぎているときは**
お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
● 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

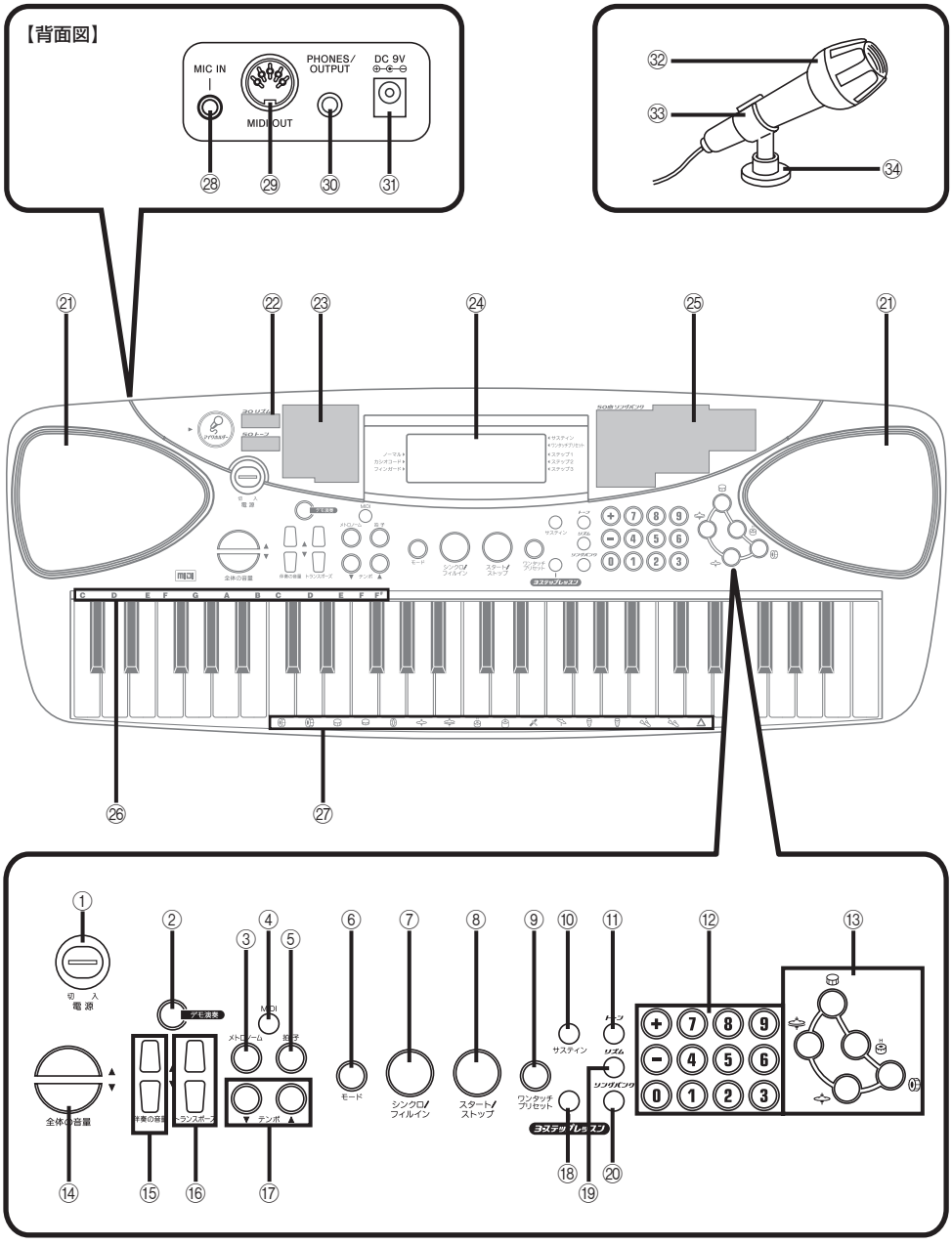
■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

MA170_j_00-05.p65 Page 6 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

目次

安全上のご注意 表紙裏
ご使用上の注意 4
保証・アフターサービス 4
目次 5
各部の名称 6
液晶表示の見方 7
電源について 8
電池で使うときには 8
ACアダプターで使うときには 9
接続するには 10
ヘッドホン／アウトプット端子について 10
付属品・別売品について 10
鍵盤を弾いてみましょう 11
デモ演奏を聴いてみましょう 11
マイクを使うには 12
マイクを本体に取り付けるには ... 12
マイクで歌うには 13
音色を選ぶには 14
リズムを選んで鳴らすには 15
コード自動伴奏を使うには 15
シンクロスタートを使うには 17
フィルインを入れるには 17
ワンタッチプリセットを使うには 17
伴奏の音量を調節するには 17
ソングバンクの曲を演奏するには 18
曲を選んで再生するには 18
ソングバンクの曲を練習するには（3ステップレッスン機能） 19
ステップ1を練習するには 19
ステップ2・3を練習するには 20
その他の機能について 21
メトロノームを鳴らすには 21
サスティン機能を使うには 21
パーカッションパッドについて ... 21
トランスポーズ（移調）について ... 21
MIDIを使うには 22
MIDIとは？ 22
MIDIでできること 22
困ったときは 23
製品仕様 25
資料 26
トーンリスト 26
リズムリスト 26
ソングバンクリスト 26
フィンガードコード一覧 27
MIDIインプリメンテーション・チャート

各部の名称



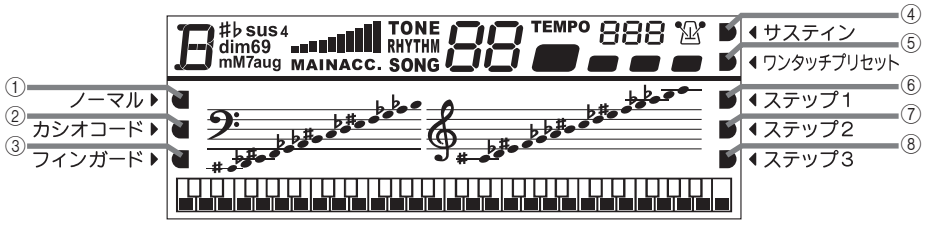
278B-J-008A

MA170_j_06-14.p65 Page 6 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

① 電源スイッチ
② デモ演奏ボタン
③ メトロノームボタン
④ MIDIボタン
⑤ 拍子ボタン
⑥ モードボタン
⑦ シンクロ／フィルインボタン
⑧ スタート／ストップボタン
⑨ ワンタッチプリセットボタン
⑩ サスティンボタン
⑪ トーンボタン
⑫ 数字ボタン
⑬ パーカッションパッド
⑭ 全体の音量ボタン
⑮ 伴奏の音量ボタン
⑯ トランスポーズボタン
⑰ テンポボタン
⑱ 3ステップレッスンボタン
⑲ リズムボタン
⑳ ソングバンクボタン
㉑ スピーカー
㉒ リズムリスト
㉓ トーンリスト
㉔ 液晶表示
㉕ ソングバンクリスト
㉖ 音名
㉗ 打楽器イラスト
㉘ マイク イン端子
㉙ MIDIアウト端子
㉚ ヘッドホン／アウトプット端子
㉛ 電源端子(DC9V)
㉜ マイク
㉝ マイクホルダー
㉞ マイクホルダーベース

本体パネル上では、リストが省略されています。詳細は、巻末資料の各リストを参照してください(26ページ)。

液晶表示の見方



① ノーマル
② カシオコード
③ フィンガード
④ サスティン
⑤ ワンタッチプリセット
⑥ ステップ 1
⑦ ステップ 2
⑧ ステップ 3

MA170_j_06-14.p65 Page 7 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

電源について

本機は家庭用 100V 電源、電池が使える２電源方式です。
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

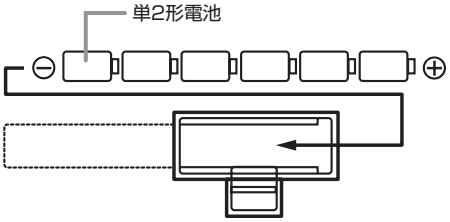
電池で使うときには

電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

電池を入れるには

1 **電池ケースのフタをはずします。**

2 **単２形電池６本を入れます。**
- ⊕⊖の向きに注意してください。



3 **電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。**

電源を入れたまま電池を交換すると、正常に機能しない場合があります。この場合、一度電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

電池について

● 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。
- マンガン電池使用時‥‥‥約５時間※

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

● 下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。※
- 音質が劣化した。※
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。※
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムやデモ演奏曲などが正しく発音されない。

※ マイク使用時も含む

⚠警告

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。
- 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
- 極性（⊕と⊖の向き）に注意して正しく入れる

⚠注意

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。
- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく

278B-J-010A

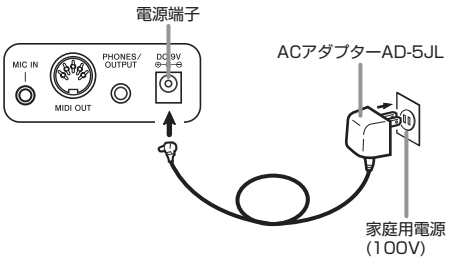
MA170_j_06-14.p65 Page 8 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

AC アダプターで使うときには

本機指定の AC アダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式：AD-5JL

【背面部】



なお、AC アダプターをご使用になるときは、以下の点にご注意ください。

⚠警告

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機指定のACアダプターを使用する
- 電源は、AC100V (50/60Hz)のコンセントを使用する
- 1 つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない
- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに連絡する
- 濡れた手で AC アダプターに触れない
- ACアダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災・感電の原因となります。
- ACアダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災・感電の原因となります。

⚠注意

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず AC アダプター本体を持って抜く）
- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 雷雨のとき、または旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、コンセントから抜いて、年一回以上清掃する

重要

- **AC アダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行なってください。**
- **A C アダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。**

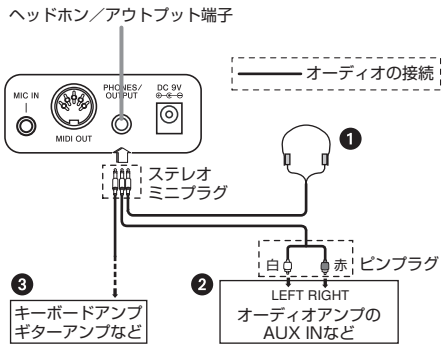
MA170_j_06-14.p65 Page 9 04.8.17, 11:53 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

接続するには

ヘッドホン／アウトプット端子について

接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



● ヘッドホンをつなぐには（図❶）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

● オーディオ機器と接続するには（図❷）

市販の接続コード（ミニプラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオミニプラグのものをご利用ください（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません）。通常はオーディオ機器側のインプットセレクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

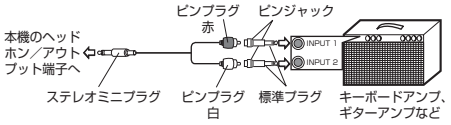
● 楽器用アンプと接続するには（図❸）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード※を使用します。

※ 本機につなぐ側　：ステレオミニプラグのもの
　アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする
　（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

［接続例］



NOTE

- コンピュータ（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（22 ページ「MIDI を使うには」参照）。

付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

278B-J-012A

MA170_j_06-14.p65　Page 10　04.8.17, 11:54 AM　Adobe PageMaker 6.5J/PPC

鍵盤を弾いてみましょう

1 電源スイッチを “入” にして、電源を入れます。

2 全体の音量ボタンで音量を調節します。

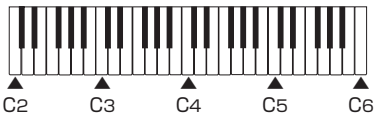
- [▲] ボタンを押すごとに音量は大きくなります。[▼]ボタンを押すごとに音量は小さくなります。
- 設定値は画面の “MAIN” 上に表示されます。
- 音量の設定範囲は、0～10（11段階）です。

3 鍵盤を弾いてみましょう。

NOTE

音名の対応

C4 などの数字は鍵盤の位置を示しています。



デモ演奏を聴いてみましょう

1 デモ演奏ボタンを押すと、現在選ばれている曲から一曲ずつ順番にデモ曲を再生します。

- 演奏を止めるには、もう一度デモ演奏ボタンを押します。

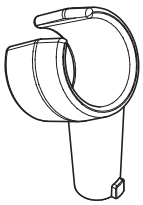
MA170_j_06-14.p65 Page 11 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

マイクを使うには

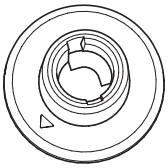
マイクを本体に取り付けるには

部品を確認しましょう。

マイク



マイクホルダー



マイクホルダーベース

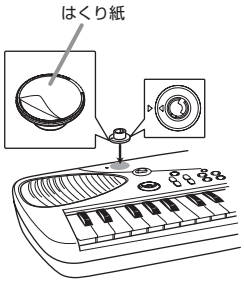
1 マイクホルダーベースを本体に貼り付けます。

＊ 貼り付ける前に、必ず貼り付ける面を柔らかい布などでふいてください。

（1）マイクホルダーベースの裏面のはくり紙をはがし、マイクホルダーベースの▲マークと本体の▲マークがあうようにして貼り付けます。

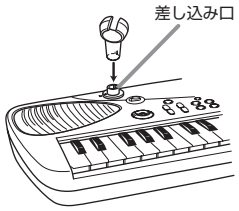
（2）マイクホルダーは、下の図のように、本体の左上側にある「マイクホルダー」と書かれた位置に貼り付けます。

＊ マイクホルダーベースは貼り付けたあと、30 分～ 1 時間位は力を加えないでください。（貼り付けたあとすぐ力を加えると、はがれやすくなります。）

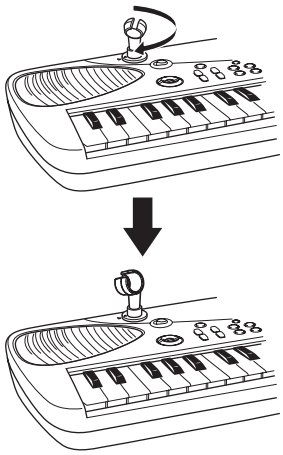


2 マイクホルダーベースにマイクホルダーを差し込みます。

（1）マイクホルダーの凸部を、マイクホルダーベースの右上側の凹部に合わせて差し込みます。



(2) マイクホルダーを矢印の方向へ回します。

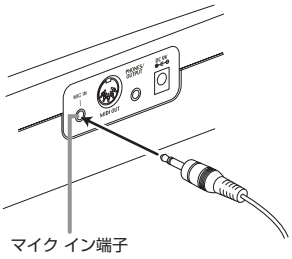


278B-J-014A

MA170_j_06-14.p65 Page 12 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

3 **マイクのプラグをマイク イン端子に接続します。**

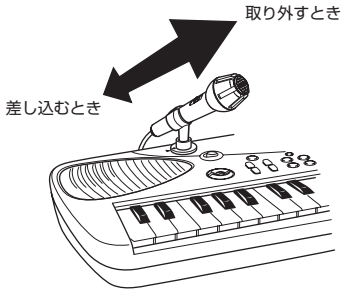
＊ 接続する前に、必ず電源スイッチを“切”にしてください。



4 **マイクをマイクホルダーに差し込みます。**

- コードを先にマイクホルダーに通してから、マイクを差し込みます。（マイクを取り外すときには、逆の方向に抜いてください。）

＊ マイクを差し込んだときに、マイクをスピーカーに向かせないようにしてください。

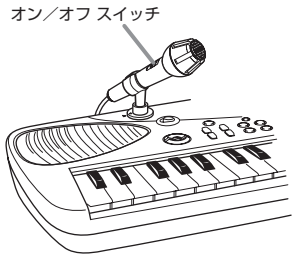


マイクの取り扱いについて

マイクのプラグを抜き差しするときは、必ず電源を切ってから、プラグの部分を持って行ってください。（コードを引っぱってマイクを抜くと、マイクがこわれたり、正常に機能しなくなる場合があります。）

マイクで歌うには

1 **マイクのオン／オフ（ON/OFF）スイッチを“オン（ON）”にします。**



2 **デモ演奏曲などに合わせて、付属品のマイクで歌ってみましょう。**

重要

- **マイクを使用しないときは、オン／オフ（ON/OFF）スイッチを“オフ（OFF）”にして、マイクをマイク イン端子から抜いてください。**

NOTE

- 本体の内蔵曲は、原曲（オリジナル）と曲の長さやキーが異なる場合があります。
- マイクの音量は、調節できません。
- ハウリングにご注意ください。（下記の「ハウリングについて」参照）

ハウリングについて

下記のような行為をすると、キーンという音（ハウリング）が発生します。

- マイクを手でおおう。
- マイクをスピーカーに向けている。

このようなときは、マイクの柄の部分を持つようにし、マイクをスピーカーに向かせないようにすれば鳴りやみます。

MA170_j_06-14.p65 Page 13 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

音色を選ぶには

本機には、50 音色が内蔵されています。音色の全リストは、本書の巻末（26 ページ）に記載されています。

1 トーンボタンを押します。

- 画面上に“TONE”の表示が点灯し、現在選ばれている音色の番号が表示されます。

2 26ページのトーンリストの中から選びたい音色を選び、数字ボタンで音色の番号（2 桁）を押します。

- 例えば、“06 マリンバ”を選ぶ場合は、数字ボタンを“0→6”と押します。
- +/−ボタンを使って音色の番号を 1 ずつ変更することもできます。

3 鍵盤を弾いて、選んだ音色を聴いてみましょう。

NOTE

- 電源を入れたときは、“00 グランドピアノ”が選ばれています。
- 本機は同時に最大で 8 音まで発音します。
- 音色番号“49 パーカッション”を選ぶと、下図のように鍵盤ごとに異なる打楽器音が割り当てられます。

鍵盤	—	パーカッション名	パーカッションパッド
C3		バスドラム 1	○
D3		バスドラム 2	
E3		アコースティック スネア 1	○
F3		アコースティック スネア 2	
G3		タンバリン	
A3		クローズド ハイハット	○
B3		オープン ハイハット	○
C4		ハイ タム	○

鍵盤	—	パーカッション名	パーカッションパッド
D4		ロー タム	
E4		クラベス	
F4		ライドシンバル	
G4		ハイ コンガ	
A4		ロー コンガ	
B4		ハイ アゴゴ	
C5		ロー アゴゴ	
D5		ミュート トライアングル	

278B-J-016A

MA170_j_06-14.p65 Page 14 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

リズムを選んで鳴らすには

本機には、30種類のリズムが搭載されています。リズムの全リストは、本書の巻末（26ページ）に記載されています。

1 リズムボタンを押します。
- 画面上に“RHYTHM”の表示が点灯し、現在選ばれているリズムの番号が表示されます。

2 26ページのリズムリストの中から選びたいリズムを選び、数字ボタンで音色の番号（2桁）を押します。
- 例えば、“02 ダンス”を選ぶ場合は、数字ボタンを“0→2”と押します。
- +/−ボタンを使ってリズムの番号を1ずつ変更することもできます。

3 スタート／ストップボタンを押して、選んだリズムをスタートさせます。

4 テンポを調節するには、テンポボタン（[▲]／[▼]）を押します。
- テンポは、40～240が指定できます。
- 現在指定されているリズムのおすすめのテンポにするには、テンポボタンの[▲]と[▼]を同時に押します。

5 リズムを止めるには、スタート／ストップボタンを押します。

テンポの初期設定について

リズムのテンポの初期設定については以下の通りです。

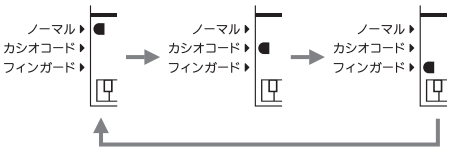
- リズム番号ごとに、おすすめのテンポが設定されています。
- リズムが止まっている時にリズム番号を変更すると、おすすめのテンポが自動的に設定されます。
- リズムを鳴らしている時にリズム番号を変更しても、テンポは変わりません。ただし、ワンタッチプリセット（17ページ）をオンにしておくと、リズムを鳴らしているときににリズム番号を変更しても、おすすめのテンポが自動的に設定されます。

コード自動伴奏を使うには

鍵盤の左側19鍵（C2～F♯3）は、鍵盤上側に音名が記されており、伴奏鍵盤になっています。伴奏鍵盤でコードを指定して演奏するすることができます。

準備
- リズムを選び、テンポを調節します。

1 モードボタンを繰り返し押して、画面上のカシオコードまたはフィンガードのインジケーターを点灯させます。
- モードボタンを1回押すごとに以下のように設定が切り替わります。



2 スタート／ストップボタンを押して、リズムをスタートさせます。

3 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。
- 手順1で選んだモードボタンの設定によって鍵盤の押さえ方が異なります。詳しくは次項の「カシオコードについて」、「フィンガードについて」をご参照ください。

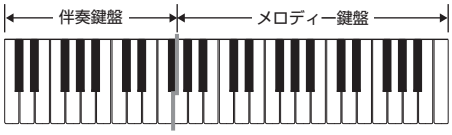
4 コード自動伴奏を使用しないときは、モードボタンで画面上のノーマルインジケーターを点灯させます。

MA170_j_15-22.p65 Page 15 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により４種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**

コードの種類

カシオコードでは、最小限の指使いで４つのコードの種類を演奏できます。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、１オクターブ違う同音でもかまいません)。	C (C メジャー) 音名
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を１つ押します。	Cm (C マイナー)
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を２つ押します。	C7 (C セブンス)
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を３つ押します。	Cm7 (C マイナーセブンス)

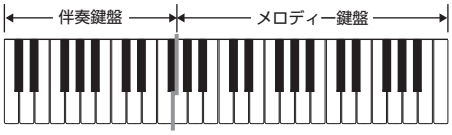
NOTE

- ２つ目以降の伴奏鍵盤は、１つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

フィンガードについて

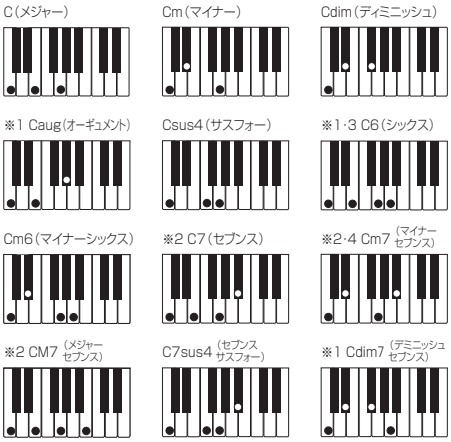
この方法で指定できるコードは１２種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法（“C”を根音とした場合）は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- **フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。**



★根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります（27ページ「フィンガードコード一覧」参照）。

※１：転回形（次ページの***NOTE***を参照）は使えません。最低音が根音となります。

※２：５度のソの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

※３：３度のミの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

※４：第１転回形は使えませんが、第２、第３転回形は使えます。

278B-J-018A

MA170_j_15-22.p65 Page 16 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

NOTE

- 伴奏鍵盤であれば前ページの押さえ方（例えばCを「ドミソ」と押さえる）だけでなく、転回形（コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる）も有効です。
  ･･･※１のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり１音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
  ･･･※２、３のコードを除く。

シンクロスタートを使うには

鍵盤を演奏すると同時にリズムをスタートさせる機能です。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- モードボタンでコードの指定方法を選ぶ。

1 シンクロ／フィルインボタンを押します。

- 画面上でテンポ表示の下の黒いドットが点滅し、シンクロ待機の状態になったことを表します。

2 伴奏鍵盤でコードを指定します。

- リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- モードの設定をノーマルにしてある場合は、鍵盤を押すとリズムのみが鳴り始めます。

フィルインを入れるには

フィルインとは、演奏中のリズムパターンを一時的に変化させる演奏です。

1 リズム演奏中にシンクロ／フィルインボタンを押します。

- リズムにフィルインパターンが入り、次の小節から再び元のリズムパターンに戻ります。
- 長いフィルインを挿入するには、シンクロ／フィルインボタンを押し続けます。ボタンを離すまで、フィルインパターンが演奏され続けます。

ワンタッチプリセットを使うには

ワンタッチプリセットとは、各リズムパターンごとに、そのリズムに合った音色やテンポ設定が自動的に選択される機能です。

1 リズムボタンを押します。

2 リズム番号（２桁）を押します。

3 ワンタッチプリセットボタンを押します。

- 画面上にワンタッチプリセットインジケーターが表示されます。
- 鍵盤の音色やテンポが、現在選ばれているリズムに対応した設定にセットされます。
- 新しくセットされた音色番号を確認するには、トーンボタンを押してください。

4 リズムをスタートさせ、鍵盤演奏を行なってみましょう。

- 別のリズムを選ぶと、リズムに応じた音色とテンポ設定が選ばれます。

5 ワンタッチプリセットを解除するには、ワンタッチプリセットボタンを押します。

伴奏の音量を調節するには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。

1 伴奏の音量ボタンで音量を調節します。

- [▲] ボタンを押すごとに音量は大きくなります。[▼]ボタンを押すごとに音量は小さくなります。
- 設定値は画面の“ACC.”上に表示されます（ACC. は ACCOMPANIMENT の略です）。
- 伴奏の音量の設定範囲は、0～10（11段階）です。

MA170_j_15-22.p65 Page 17 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ソングバンクの曲を演奏するには

本機には 50 種類の自動演奏曲が内蔵されています。ソングバンク曲のリストは本機のパネル上に記載されています。

NOTE

- 曲番号 40 ～ 49 の曲名は、本体パネル上に記載されていません。巻末の 26 ページ「ソングバンクリスト」を参照してください。

曲を選んで再生するには

1. **ソングバンクボタンを押します。**
   - 画面上に“SONG”の表示が点灯し、現在選ばれている曲の番号が表示されます。
2. **本体パネル上に記載されているソングバンクリストの中から曲を選び、数字ボタンで 2 桁の曲番号を入力します。**
   - +/−ボタンで番号を変更することもできます。
3. **スタート／ストップボタンを押して、曲を再生します。**
   - 画面中央の五線譜部分に、演奏されている音符が表示されます。
   - 画面下の鍵盤部分に、演奏されている音の高さが表示されます。
   - テンポ表示の下にある黒いドットが、曲の拍子にあわせて点灯します。
   - 画面の左上にコード名が表示されます。
4. **テンポボタンを押して、テンポを調節します。**
5. **演奏を止めるには、スタート／ストップボタンを押します。**

NOTE

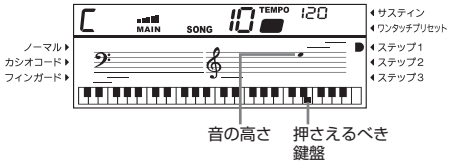
- 電源を入れたときは、“00 カノン（パッヘルベル）”が選ばれています。

278B-J-020A

MA170_j_15-22.p65 Page 18 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

ソングバンクの曲を練習するには(3ステップレッスン機能)

本機では、どなたでも簡単に内蔵曲を練習できる機能を備えています。本体画面のガイドを見ながら、メロディーを弾いてみましょう。初めは鍵盤を弾くタイミングをおぼえ、次にゆっくりと自分のペースで、最後に普通の速さで練習できます。

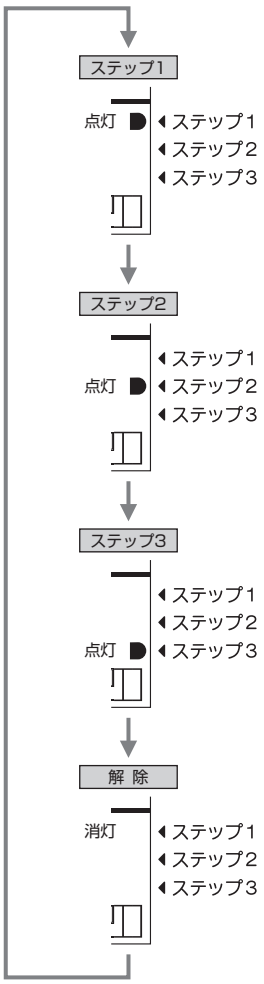


- ステップ１：弾くタイミングをおぼえます。どの鍵盤を弾いても、メロディーが正しく鳴ります。それに合わせて、自動伴奏が鳴ります。
- ステップ２：弾く鍵盤(位置と順序)をおぼえます。画面表示の鍵盤と五線譜上が、押さえる鍵盤を教えてくれます。ゆっくり弾いても大丈夫です。画面のガイドと伴奏パートは、待ってくれます。
- ステップ３：普通の速さで弾きます。画面のガイドと伴奏は、待たずに普通の速さで進行します。

以下の操作に従って、3ステップレッスン機能を使ってみましょう。

ステップ 1 を練習するには

1 ソングバンクボタンを押してから、3 ステップレッスンボタンを押して、ステップ 1 のインジケーターを点灯させます。



MA170_j_15-22.p65 Page 19 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

2 ソングバンクリストの中から曲を選んで、数字ボタンで曲番号（2 桁）を押します。

3 スタート／ストップボタンを押します。

- 曲がスタートし、メロディーの最初の音を弾くタイミングまで来ると、画面の鍵盤と五線譜の部分に押さえるべき音の高さが表示され、曲が一時停止して演奏待機の状態になります。指定された鍵盤を押して、練習を開始します。
- 曲が一時停止して演奏待機になっている状態で鍵盤を弾くと、一時停止が解除され曲が先へ進みます。次のメロディーの音を弾くタイミングまで曲が進むと演奏は再び一時停止し、次に弾くべき鍵盤が画面に表示され演奏待機の状態になります。間違った鍵盤を弾いても、正しいメロディーが鳴ります。

4 練習を止めるには、スタート／ストップボタンまたは 3 ステップレッスンボタンを押します。

- 3ステップレッスンボタンを押した場合には、画面上のステップ2インジケーターが点灯してそのままステップ2のレッスンを開始できます。

5 3 ステップレッスン機能を解除したい場合は、3 ステップレッスンボタンを繰り返し押して、3 ステップ部分のインジケーターを消灯させます。

ステップ 2・3 を練習するには

前記の手順 1 において、3 ステップレッスンボタンを繰り返し押して、ステップ 2 か 3 のインジケーターを点灯させます。

- ステップ 2 では、弾く鍵盤（位置と順序）をおぼえます。画面表示の鍵盤と五線譜上で指定された鍵盤を正しく押します。ゆっくり弾いても大丈夫です。画面のガイドと伴奏パートは、待ってくれます。ステップ 1 と違って、正しい鍵盤を押さないと演奏は先へ進みません。正しい鍵盤を押さえると曲が先へ進み、次に弾くべきメロディーの音を弾くタイミングまで進むと、演奏が再び一時停止し、画面上には次に弾くべき鍵盤が表示されます。
- ステップ 3 では、普通の速さで弾きます。画面のガイドと伴奏は、待たずに普通の速さで進行します。

278B-J-022A

MA170_j_15-22.p65 Page 20 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

その他の機能について

メトロノームを鳴らすには

1 **メトロノームを鳴らすには、トーンボタンかリズムボタンを押してから、メトロノームボタンを押します。**
- 現在設定されているテンポでメトロノーム音が鳴り、画面上のメトロノームのバーが左右に振れます。

2 **テンポボタン（[▲]／[▼]）でテンポを調節します。**
- テンポは 40～240 が指定できます。

3 **メトロノームを止めるには、もう一度メトロノームボタンを押します。**

拍子を設定するには

1 **メトロノームが鳴っているときに、拍子ボタンを繰り返し押して拍子を設定します。**
- 拍子は９種類（00、02～09）の中から設定できます。

サスティン機能を使うには

鍵盤から手を離した後に音がすぐに消えずに余韻を残すことができます。

1 **サスティンボタンを押します。**
- 画面上にサスティンインジケーターが点灯し、弾いた音にサスティン効果がかかるようになります。

2 **サスティン機能を解除するには、サスティンボタンを押してサスティンインジケーターを消灯させます。**

NOTE
- サスティン効果のかかる度合いは音色ごとに異なっており、音色によってはほとんど効果がかからないように聴こえるものもあります。また、「49 パーカッション」およびパッドによるパーカッション発音には効果がかかりません。

パーカッションパッドについて

パーカッションパッドを使うには

本機の5つのパーカッションパッドにはそれぞれ5種類の打楽器（アコースティック スネア 1、オープン ハイハット、クローズド ハイハット、バスドラム 1、ハイ タム）が割り当てられています。パッドを指先でたたくだけで簡単に鳴らすことができます。

パーカッションパッドに好きな打楽器音を割り当てるには

パーカッションパッドに好きな打楽器音を自由に割り当てることができます。

NOTE
- 電源を切ると各パーカッションパッドは元の打楽器音に戻ります。

1 **トーンボタンを押してから、数字ボタンで“49 パーカッション”を押します。**

2 **鍵盤の中央部のパーカッションイラストが記載されている16の白鍵（C3～D5）を押して、お好きな打楽器音を選びます。**

3 **割り当てたいパーカッションパッドを押さえながら、手順２で選んだ白鍵を押します。**

4 **パーカッションパッドをたたいて、割り当てた音を鳴らしてみましょう。**

トランスポーズ(移調)について

本機は、電源を入れたときには自動的に中央のC調が選ばれています。12段階（－6～+6）で本機の調を半音単位で上下（移調）させることができます。

1 **トランスポーズ [▲]ボタンで半音ずつ上へ移調できます。また、トランスポーズ [▼]ボタンで半音ずつ下へ移調できます。**
- 調を初期値に戻すには、トランスポーズボタンの[▲]と[▼]を同時に押します。
- 電源を入れたときは“00”に戻ります。

MA170_j_15-22.p65 Page 21 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

MIDI を使うには

本機背面のMIDIアウト端子により、外部のMIDI機器を利用できます。

MIDI とは？

MIDI とは Musical Instrument Digital Interface の略です。MIDI はデジタル信号と接続端子の世界的統一規格で、これにより異なるメーカーの電子楽器やコンピュータ（デバイス）同士のデータ転送が可能になります。
本機の MIDI アウト端子に外部の MIDI 音源を接続して、本機の演奏情報を送信することができます。

NOTE

- 送信される演奏情報の詳細は、巻末のMIDIインプリメンテーション・チャートをご参照ください。

MIDI でできること

パソコンと接続するには

NOTE

- MIDI インターフェースが装備され、MIDI ソフトがインストールされているコンピュータが必要です。

1 本機側とコンピュータ側両方の電源を切ります。

2 本機と、コンピュータに装備されたMIDIインターフェースを別売の MIDI ケーブルでつなぎます。

3 本機側とコンピュータ側両方の電源を入れます。

- 全体の音量ボタンで音量の設定を小さめにしておきましょう。
- コンピュータ側で MIDI ソフトを起動しておきます。

4 本機の MIDI チャンネルを設定します。

- MIDI ボタンを押すたびに設定チャンネルが繰り上がり、画面にチャンネル番号が表示されます。
- 設定範囲は01～16で、初期値は01（1チャンネル）です。

5 鍵盤演奏をしてみましょう。

- 本機の鍵盤演奏情報がコンピュータ側へ送信されます。

NOTE

- 音色変更、自動伴奏、内蔵曲、サスティンやトランスポーズは MIDI データとして送信されません。

外部機器と接続するには

2 つの MIDI 機器の間で情報をやりとりするには、別売の MIDI ケーブルで接続する必要があります。

- 本機のMIDIアウト端子を他のMIDI機器のMIDIイン端子につなぐと、本機の鍵盤情報で他方を鳴らすことができます。

278B-J-024A

MA170_j_15-22.p65 Page 22 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	1. 電源が正しくセットされていない。 2. 全体の音量が“0”になっている。 3. ヘッドホンをつないである。 4. モードが“カシオコード”や“フィンガード”のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 5. “49パーカッション”の音色が割り当てられていない鍵域を押している。 6. ソングバンク曲の再生中やデモ演奏中は、鍵盤を弾いても発音しません。	1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の⊕⊖の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 2. 全体の音量の[▲]ボタンを押す。 3. ヘッドホンをヘッドホン／アウトプット端子から抜く。 4. モードをノーマルに設定する。 5. “49パーカッション”はC3～D5の鍵域（鍵盤手前の打楽器のイラスト参照）で演奏する。 6. ソングバンク曲の再生やデモ演奏を停止させる。	☞8, 9ページ ☞11ページ ☞10ページ ☞15ページ ☞14ページ ☞11,18ページ
電池で使用していて、下記の状態になった。 • 電源が入らなくなった。 • 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 音量が小さくなった。※ • 音質が劣化した。※ • 大きな音を出すと、時々音が途切れる。 • 大きな音を出すと、突然電源が切れる。※ • 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 • 鍵盤を押していないのに音が出続ける。 • 指定の音色とは異なる音を発音する。 • リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。 ※マイク使用時も含む	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	☞8, 9ページ

MA170_j_23-27.p65 Page 23 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
自動伴奏の音が鳴らない。	自動伴奏の音量が“0”になっている。	伴奏の音量ボタンで伴奏の音量を上げる。	☞ 17ページ
トランスポーズができない。 モードボタンが効かない。	1. トーンで“49 パーカッション”が設定されている。 2. ソングバンクのモードになっている。 3. デモ演奏中。	1. 音色の設定を“49 パーカッション”以外に変更する。 2. トーンもしくはリズムボタンを押して、ソングバンクモードを解除する。 3. デモ演奏を停止して、2の方法でソングバンクモードを解除する。	☞ 14ページ ☞ 14,15ページ ☞ 11,14,15ページ
シンクロ／フィルインボタンが効かない。 ワンタッチプリセットボタンが効かない。 サスティンボタンが効かない。	1. ソングバンクのモードになっている。 2. デモ演奏中。	1. トーンもしくはリズムボタンを押して、ソングバンクモードを解除する。 2. デモ演奏を停止して、1の方法でソングバンクモードを解除する。	☞ 14,15ページ ☞ 11,14,15ページ
3ステップレッスンボタンが効かない。	ソングバンクのモードになっていない。	ソングバンクボタンを押して、ソングバンクモードにする。	☞ 18ページ
マイクの音が出ない。	1. マイク イン端子にマイクのプラグがしっかりと差し込まれていない。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチがオフ(OFF)になっている。	1. マイク イン端子にマイクのプラグをしっかりと差し込む。 2. マイクにあるオン/オフ(ON/OFF)スイッチをオン(ON)にする。	☞ 12ページ ☞ 12ページ

278B-J-026A

MA170_j_23-27.p65 Page 24 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

製品仕様

型式：	MA-170
鍵盤数：	49（ミニ鍵盤）
同時発音数：	最大８音
音色数：	50
自動伴奏機能 • リズム／パターン数： • テンポ： • コード： • リズムコントローラー： • 伴奏の音量：	 30 可変（201 段階　♩= 40～240） ２種類（カシオコード、フィンガード） シンクロ／フィルイン、スタート／ストップ ０～10（11 段階）
ソングバンク曲数：	50
パーカッションパッド：	5
全体の音量：	０～10（11 段階）
その他の機能：	３ステップレッスン、ワンタッチプリセット、メトロノーム、 トランスポーズ、サスティン、デモ演奏
MIDI：	MIDI チャンネル設定（01 ～ 16）
スピーカー：	ø8cm × 2（出力 3W + 3W）
電源： • 電池： • 家庭用 100V 電源：	２電源方式 単２形電池６本使用 電池持続時間：約５時間·····マンガン電池使用時 AC アダプター AD-5JL 使用
入出力端子 • MIDI 端子： • 電源端子： • ヘッドホン／アウトプット端子： • マイク イン端子：	 アウト DC9V ステレオミニジャック 出力インピーダンス：30Ω 出力電圧：6.0V (RMS) MAX ミニジャック 入力インピーダンス：9KΩ
消費電力：	9V ⎓ 7.7W
サイズ（H × W × D）：	66.7 × 25.0 × 7.6（cm）
重量：	2.1kg（電池含まず）
付属品：	マイク、マイクホルダー、マイクホルダーベース、 取扱説明書（保証書含む）

★ 改良のため、仕様およびデザインを予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番
AC アダプター	AD-5JL
ヘッドホン	CP-16
MIDI ケーブル	MK-5

★ 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店（全国の有名楽器店、デパートなど）でお求めになれます。

MA170_j_23-27.p65　Page 25　04.8.17, 11:54 AM　Adobe PageMaker 6.5J/PPC

資料

トーンリスト

ピアノ

00 グランドピアノ
01 エレクトリックピアノ 1
02 エレクトリックピアノ 2
03 ハープシコード 1
04 ハープシコード 2
05 ビブラフォン
06 マリンバ

オルガン

07 エレクトリックオルガン 1
08 エレクトリックオルガン 2
09 エレクトリックオルガン 3
10 エレクトリックオルガン 4
11 チャーチオルガン
12 リードオルガン
13 アコーディオン
14 ハーモニカ

ギター／ベース

15 ナイロンストリングスギター
16 スチールストリングスギター
17 クリーンギター
18 ディストーションギター
19 エレクトリックギター 1
20 エレクトリックギター 2
21 アコースティックベース
22 フィンガーベース
23 スラップベース
24 エレクトリックベース

ストリングス／アンサンブル

25 バイオリン
26 ピチカート
27 ハープ
28 ストリングス 1
29 ストリングス 2

ブラス

30 トランペット
31 トロンボーン
32 チューバ
33 フレンチホルン
34 ブラス 1
35 ブラス 2

リード／パイプ

36 サックス 1
37 サックス 2
38 バスーン
39 クラリネット
40 ピッコロ
41 フルート

その他

42 バンジョー
43 シンセリード 1
44 シンセリード 2
45 シンセパッド 1
46 シンセパッド 2
47 シンセ SFX 1
48 シンセ SFX 2
49 パーカッション

リズムリスト

ダンス／ポップス

00 ディスコ 1
01 ディスコ 2
02 ダンス
03 ポップバラード
04 ポップワルツ
05 フュージョン
06 ファンク
07 16 ビート
08 ソウル

ロック／ジャズ

09 ロック 1
10 ロック 2
11 8 ビート
12 リズム＆ブルース
13 ブルース
14 スローロック
15 シャッフルロック
16 シャッフルブギ
17 ロック 3
18 スイング
19 ジャズワルツ
20 ビッグバンド

ラテン／その他

21 チャチャチャ
22 ボサノバ 1
23 ボサノバ 2
24 ルンバ
25 ビギン
26 タンゴ
27 カントリー
28 ワルツ
29 マーチ

ソングバンクリスト

40 もろびとこぞりて
41 ひいらぎ飾ろう
42 ドナウ川のさざ波
43 シェリト・リンド
44 アメイジング・グレイス
45 もみの木
46 峠の我が家
47 しあわせなら手をたたこう
48 トロイカ
49 ロンドン橋

278B-J-028A

MA170_j_23-27.p65 Page 26 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

フィンガードコード一覧

よく使われるコードの各キーでの押さえ方です。

コードの種類 / 構成音（ルート）	メジャー	m（マイナー）	7（セブンス）	m7（マイナーセブンス）	M7（メジャーセブンス）	dim（ディミニッシュ）
C						
C♯/(D♭)						
D						
(D♯)/E♭						
E						
F						
F♯/(G♭)						
G						
(G♯)/A♭						
A						
(A♯)/B♭						
B						

コードの種類 / 構成音（ルート）	aug（オーギュメント）	sus4（サスフォー）	7sus4（セブンスサスフォー）	6（シックス）	m6（マイナーシックス）	dim7（ディミニッシュセブンス）
C						
C♯/(D♭)						
D						
(D♯)/E♭						
E						
F						
F♯/(G♭)						
G						
(G♯)/A♭						
A						
(A♯)/B♭						
B						

NOTE

- 上記の押さえ方は、伴奏鍵盤域内で押鍵することでコード指定できます。

MA170_j_23-27.p65 Page 27 04.8.17, 11:54 AM Adobe PageMaker 6.5J/PPC

MA170_j_MIDI Chart.p65
Page 24
04.8.17, 11:54 AM
Adobe PageMaker 6.5J/PPC
278B-J-030A

MA-170
MIDI インプリメンテーション・チャート

Version: 1.0

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 1～16	X ＊＊＊＊＊＊＊	
モード	電源ON時 メッセージ 代　用	モード３ X ＊＊＊＊＊＊＊	X X ＊＊＊＊＊＊＊	
ノート ナンバー	音　域	36～84 ＊＊＊＊＊＊＊	X ＊＊＊＊＊＊＊	
ベロシティー	ノート・オン ノート・オフ	O　9nH v = 64 X　9nH v = 0	X X	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチ・ベンド		X	X	
コントロール チェンジ	1 6, 38 7 10 11	X X X X X	X X X X X	モジュレーション データ・エントリー ボリューム パン エクスプレッション
	64 66 67 100, 101 120 121	X X X X X X	X X X X X X	ホールド1 ソステヌート ソフトペダル RPN LSB, MSB オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントローラー

コントロールチェンジ	1	X	X	モジュレーション
	6, 38	X	X	データ・エントリー
	7	X	X	ボリューム
	10	X	X	パン
	11	X	X	エクスプレッション
	64	X	X	ホールド1
	66	X	X	ソステヌート
	67	X	X	ソフトペダル
	100, 101	X	X	RPN LSB, MSB
	120	X	X	オール・サウンド・オフ
	121	X	X	リセット・オール・コントローラー
プログラムチェンジ	設定可能範囲	X ＊＊＊＊＊＊＊	X ＊＊＊＊＊＊＊	
エクスクルーシブ		X	X	
コモン	ソングポジション	X	X	
	ソングセレクト	X	X	
	チューン	X	X	
リアルタイム	クロック	X	X	
	コマンド	X	X	
その他	ローカル・オン／オフ	X	X	
	オール・ノート・オフ	○	X	
	アクティブ・センシング	X	X	
	システムリセット	X	X	
備　考				

モード１：オムニ・オン、ポリ　　モード２：オムニ・オン、モノ　　○：あり
モード３：オムニ・オフ、ポリ　　モード４：オムニ・オフ、モノ　　X：なし

278B-J-031A
MA170_j_MIDI Chart.p65
Page 25
04.8.17, 11:54 AM
Adobe PageMaker 6.5J/PPC

カシオ電子鍵盤楽器保証書

持込修理

This warranty is valid only in Japan.
この保証書は日本国内のみにて有効です。

本書は、本書記載内容により無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに修理をご依頼ください。

★ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

機種名	MA-170	
保証期間	お買上げ日より本体1年間	
	お買上げ日： 年 月 日	
お客様	お名前	様
	〒 － ご住所	
	電話 － －	
販売店	住所・店名 電話	

保証規定

1. 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をお買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションまで、ご持参またはご送付ください。仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。
3. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
4. 保証期間内でも次の場合は、有料となります。
   イ. お買上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
   ロ. 誤用、乱用および取扱い不注意、落下などによる故障・損傷(表示画面付きの製品では、画面のガラス割れなど)
   ハ. 不当な修理または改造による故障・損傷
   ニ. 電池の液漏れなどによる故障・損傷
   ホ. 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障・損傷
   ヘ. 消耗品(電池など)および付属品のお取替えの場合
   ト. 本書の提示がない場合および本書にお買上げの日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。

※ この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
☎03-5334-4111

MA0406-A Printed in China
MA170-JA-1